

花きの県別生産出荷概況(1月見通し)

品目	県名	作付面積ha (前年比)	主な品種	1月出荷見込み 千本		主産地	1月のピーク		
				全出荷量	京浜地域		上	中	下
小ぎく	沖縄県	25 (120%)	金秀 沖のくがに みさき つばさ 沖の紅寿 春の美々	10,106 (115%)	3,537 (115%)	糸満市 うるま市 八重瀬町 沖縄市 名護市	25	35	40
トルコぎきょう	熊本県	22.3 (104%)	ミヨシ系 サカタ系 八江系など	364 (86%)	174 (87%)	熊本市 菊池 球磨 など	32	35	33
バラ	茨城県	11 (98%)	サムライ、バリ、 アリシア、アイリーン、 アヴァランジェ、 アマダ、パレオ、 ノブレス 他	300	250	土浦市、石岡市、 かすみがうら市、 つくば市、水戸市、 茨城町 他	20	40	40
アルストロメリア	山形県	9.6 (95%)	アヴァランジェ エベレスト ピンクサブライズ プリマドンナ レベッカ レモン 他	330 (95%)	160 (95%)	JA山形おきたま JA鶴岡 JAそでうら	30	35	35
	茨城県	8 (100%)	レベッカ ドリームランド シナモ デボラ オルガ 他	70	50	土浦市ほか	30	30	40
ストック	千葉県	39.8 (100%)	アイアン系 カルテット系	2,000 (100%)	1,200 (100%)	館山市 南房総市 鴨川市	35	35	30
		2 (100%)	カルテットシリーズ	24 (50%)	24 (50%)	いすみ市 勝浦市 大喜多町	50	25	25

品目	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
小ぎく	・今期は平年並みの作付で、生育も順調に推移している。配色割合は黄：白：赤＝38：26：36となっている。	現状 年末需要に向け各地入荷増加していく。前半に関しては各地入荷少なめで中旬辺りから増加。引き合いに関しては下旬に向け強まる。
		見通し 大田花き 沖縄中心に安定入荷の見込み。小売需要中心の引き合いとなるも、大きな需要がないため、やや落ち着いた引き合いとなる。山形に関しては上旬までであるも中旬で出荷終了となる。 FAJ 年明けも昨年よりまとまった数量が入荷する見込み。
		東日本板橋花き 前半多少業務需要があるが、大きな需要がないため、大きく単価に変動はないであろう。 世田谷花き 引き続き、数量はある見込みだが、単価は苦しいか。 第一花き 全体的に少なく、厳しい販売。
トルコぎきょう	・生育は順調で品質は特に問題なし。夏場の高温の影響で前進化していた産地があったが、12月の気温の低下と曇天の影響で鈍化している。 ・出荷量は生育の遅れていた昨年より減少し、各産地の計画並み。出荷ピークは1月上旬中旬になる見込み。	現状 国産に関しては入荷量増えず、需要はやや落ち着いた取引となっているが、品薄単価高の傾向となっている。台湾産の輸入に関しては年末に向けて数量が増え、引き合いも徐々に強まる。
		見通し 大田花き 国産に関しては西南暖地中心の入荷となり、数量は例年並みの入荷となる。輸入に関しては船便がスタートすれば数量も増えていく。引き合いは落ち着いた取引となる。 FAJ 葬儀関係中心の取引続く。入荷量は例年並みで、台湾からまとまった入荷を見込む。
		東日本板橋花き 12月の出荷遅れたものがあるので、数量増加予想だが、天候次第。 世田谷花き 高知、熊本産に加えて、台湾産も増えてくる。 第一花き 全体的に少ない中、業務需要・ブライダル需要を中心に概ね例年並みの流れ。@140
バラ	・品質は平年並みが見込まれる。 ・一部産地で新植、品質も向上している。 ・一部産地で、べと病発生あり。	現状 重油高騰の影響により、例年より設定温度が低いため、入荷量が少ない。例年比べ赤色のSPが非常に少なく、引き合いが強くなった。赤色のSTも品種の切り替えにより、下位等級が少なく、上位等級が中心になる。
		見通し 大田花き 高冷地など暖房を止める産地があり、入荷は例年より減少傾向。西南暖地は昨年並みの入荷を見込むが、相場で重油の消費を抑える生産者もいる。 FAJ 目立った需要はなく、厳しい取引が続く見込み。国産入荷量は少ないが輸入で対応。
		東日本板橋花き これといった需要はなく、重油高で出荷減少の見込み。 世田谷花き 入荷減の予想。成人式もあるが、相場は、保合の予想。 第一花き 需要は少ない。品種・品質格差の単価差はある。SD@100 SP@110
アルストロメリア	・生育は、最低温度10～13℃程度で加温管理が行われていることから、順調に推移している。 ・1月の出荷量は、作付面積が前年よりやや減少していることから前年の95%程度と見込まれる。 ・病害虫の発生は少なく、切り花品質は良好である。	現状 各産地低温の影響から、生育が鈍り出荷数量は横ばい。下位等級は少なく、中から上位等級中心となり、安定した相場展開。赤、オレンジ系は品薄から高値で推移。
	・開花の遅れにより、1月前半までは出荷量は少ない。	見通し 大田花き 各産地、徐々に増加してくる時期に入り、年内少なかった下位等級も増加してくる。品種数も増え、各色そろってくる見込み。 500,000本 @75 FAJ ほぼ例年並みの入荷を予定。花束需要など安定した需要で取引安定。
		東日本板橋花き 業務中心の動き。 世田谷花き 入荷量変わらず、相場落ち着く。 第一花き 業務・ブライダル需要主体の流れ、特に入荷も多くない時期で、品種による単価差はあるが概ね例年並みの流れ。@90
ストック	・12月まではやや前進出荷傾向であったが、気温の低下により1月は平年並みに戻る見込み。	現状 各産地、昨年と比べると天候が良かったため、順調に数量がでている。需要面では上旬は落ち着いた取引が続くが、下旬は年末需要が開始され活発な取引となった。
	・開花は平年並みで、品質は良好。	見通し 大田花き 天候に左右されるため不安定な入荷となる見込み。需要面では、大きな需要もなく比較的落ち着いた動きとなる見込み。 FAJ 千葉本格出荷に。専門店や葬儀など需要も高まり、安定した相場での取引が続く。
		世田谷花き ST、SP系ともに潤沢に入荷。価格も落ち着くのでは。 第一花き 入荷は昨年よりも少ない模様、業務需要を主体に高値の流れ。SP系の入荷は多い模様。SD@75 SP@90